



龍 最 審 第 1 号  
令和4年10月28日

龍ヶ崎市長 萩原 勇 様

龍ヶ崎市最上位計画策定審議会  
会 長 鈴木 麻里子

龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030 (案) について (答申)

令和3年3月26日付け龍企第20号で諮問のあったみだしの件については、慎重審議の結果、概ね妥当なものと認める。

なお、龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030 (以下「本計画」という。)の推進に当たり、当審議会での審議経過や市民からの提案、意見などを踏まえた付帯意見を下記に添えて答申する。

#### 記

本計画に定める将来に向けた本市のあるべき姿「Creation—ともに創るまち・龍ヶ崎—」の実現には、本計画の将来ビジョンや施策などを市民や企業、関係団体など、多様な主体と共有することが肝要である。

そのため、本計画の市民等への積極的な情報発信を推進するとともに、具体の事業実施に当たっては、その計画段階から市民意見の聴取に努め、市民等にとって納得性の高い取組を推進すること。

なお、その他、次に掲げる事項に留意の上、施策推進を図ること。

- ・ 適正かつ慎重な財政運営に基づく施策の着実な推進
- ・ 目標人口の達成に向け、様々な角度からの取組の必要性の検討
- ・ 若者の定着を図るための雇用の場の創出や民法改正に伴う成人年齢の引下げを受け、成人としての自覚を促す場の確保や市政への参画の促進
- ・ 電子自治体の推進に当たり、効率性や国の示す画一的なものだけにとらわれず、情報弱者への配慮・支援の徹底とオープンデータ化の推進
- ・ 持続可能なまちづくりを意識し、SDGsの更なる推進と官民連携の強化
- ・ 市民のワークライフバランスの取組の定着の推進